

わたしが思うダムの魅力とは 女性技術者の座談会

～土木技術者やダムマイスターが様々な立場から、それぞれの思いを語りました～

電源開発株式会社の田子倉電力所にて初の女性所長が就任したのをきっかけに、女性技術者との交流を深めるべく、9月28日に福島県只見町にある電源開発只見展示館にて「ダムの魅力とは」をテーマに女性技術者の座談会が行われました。水資源機構から一庫ダム管理所 廣瀬所長代理が参加しました。

- 内容**
- ① ダムとの関わりを教えてください
 - ② ダムの重要性についてどう思いますか
 - ③ ダムの未来について



町田 奈緒さん

ダムマイスター

下久保ダムの「カド」がすき

- ① 子どもと出かけるにはダムは本当に良い場所です。自然を満喫しながら、巨大構築物も見学でき、駐車場も無料、近くには道の駅もあります。ダムの役割や働きについて一般の方に広く認識していただきたく現在はダムマイスターとして活動しています。

ダムのイベントには毎年参加していますが関係者の方はいつも丁寧に対応してくださり感謝しています。今後も多くのイベントの企画を期待しています。

栗崎 夏代子さん

電源開発田子倉電力所長

田子倉電力所で初の女性所長

- ③ 滝調整池では土砂の堆積が増えており、洪水時の流域への浸水被害や発電施設への支障を生じさせる可能性があります。しかし、ここ只見川流域では上流から下流までダムが階段上に連なっているため、1社の取組では解決が難しい状況です。下流を管理する東北電力さんや地域の方々との連携し解決策を見いだしていきたいと考えています。



廣瀬 早苗所長代理

水資源機構一庫ダム管理所

建設・管理・環境と様々な業務を担当

- ② 一庫ダムは地形的に降雨が少なく渇水になりやすい特徴があります。そのため、利水ユーザーや地域の方はダムの貯水率を大変気にされており、無駄な水は流さないようきめ細やかな操作を実施しています。治水面では洪水期や降雨予測があるときはなるべく水位を下げておきたいところですが、利水面ではなるべく水位を高くしておきたく、両立させながらダムを運用することの難しさを感じています。このような中、一庫ダムでは新たな取組として、水位運用高度化を開始しております。この操作は水位を高め維持することにつながりますので、うまく運用して地域の期待に応えたいと思います。

③ 最近は気候変動への対応等で、新しい操作方法が取り入れられてきており、規程どおりの操作では対応出来ない、難しい判断が必要な状況が増えていくと思われます。しかしながら、地域の方に感謝の言葉をいただくこともあり、大変モチベーションにつながっています。今後も下流地域の方々が安心・安全に生活できるよう適切な建設、管理に努めていきたいと思っています。

④ ⑤



左から最上さん、中川さん、廣瀬所長代理、栗崎さん、田中さん、町田さん

田中 里佳さん

国土交通省水管理・国土保全局

ミズベリング・ハイブリッドダムの取組を推進

- ① 水辺やダムは地域に価値を生み出す可能性の宝庫です。ダムもこれまでのインフラツーリズムだけでなく使い次第で流域内外の人を呼び寄せるコンテンツになり得ると考えています。

- ② H30年7月豪雨を受けて、R2年度より利水ダムも含めた事前放流の取組が全国的に推進されていますが、洪水が発生する前に容量をできるだけ確保することは被害を抑えるためには重要であり、地域の期待も高くなっています。これに加えて、水位を高くして運用により増電を行う取組も実施しています。今後もうまく降雨予測を活用し、双方がWinWinになるように進めていきたいです。



中川 真理子さん

東北電力事業創出部門

NFT等新技術を活用し地域貢献を目指す

- ① これまで紙のダムカードをダム来訪者に配布していましたが、東北電力では新たな取組としてダム情報をデジタルコンテンツ化した「NFTダムカード」を制作しました。新たなファンを増やしつつ、地域に根ざしているダムをもっと広く親しみやすいスポットにしていきたいと考えています。

最上 友香子さん

水源地環境センター

今回座談会の司会進行役

- ① 私自身、ダムが好きで週末は全国のダムを歩き回っています。本日はいろいろな角度からダムの魅力をお話いただきありがとうございます。

水源地環境センターでは、ダムの大切さを知ってもらうためにダムの水源地活性化に関する支援やダム百選などの広報事業を行い、「土砂バイパストンネルの計画策定のための参考手引き(案)」などをとりまとめ、公表しています。

